

学術誌「みんなの理学療法」執筆規程

1. 論文の構成

1) 標題（表題）

内容を具体的かつ的確に表し、できるだけ簡潔に記載する。原則として略語・略称は用いない。

2) 著者名

著者は当該研究・執筆に寄与するところの多い人を必要最少の範囲で記載する。著者資格については統一規定（註1）を参照すること。なお、審査開始後の著者の変更は原則認めない。

3) 要旨

【目的】【方法】【結果】【結論】について項を分けて簡潔に記載する。また、研究論文（原著）以外の記事においては、著者の判断で項目名を変更してもよい。

4) キーワード

3つとする。

5) 本文

本文は原則以下の項目に沿って本文を構成すること。ただし、研究論文（原著）以外の記事においては、著者の判断で項目名を変更してもよい。

① はじめに（序論、緒言）

研究の背景、臨床的意義、研究の目的、取り扱っている主題の範囲、先行研究との関連性の明示などを記述する。

② 対象および方法

用いた研究方法について第三者が追試できるように記述する。倫理的配慮も記述すること。

③ 結果（成績）

研究で得られた結果を本文および図表を用いて記述する。データは、検証、追試を行いやすいように図（グラフ）よりも表にして数値で示す方が望ましい。

④ 考察（分析）

結果の分析・評価、今後の課題、などを記述する。

⑤ 結論

研究で得られた結論を200～300字で簡潔に記述する。

⑥ 利益相反

利益相反の有無について記載する。

⑦ 謝辞

著者資格には該当しない研究への貢献者については謝辞に記載する。

6) 文献

引用文献のみとする。

2. 投稿原稿の構成

本文、図表、図表の説明文、補遺（Appendix）で構成する。投稿原稿の1枚目（カバーレター）に、投稿希望区分・標題・著者情報（著者氏名・所属）・キーワード・字数（各図表の換算方法も含む）を順に記載し、2枚目より要旨・本文・文献の順に記載すること。なお、図表は本文に含めず、別途（別ファイル）に分けて提出すること。

3. 投稿原稿の書式

1) 用紙サイズ

A4 縦横書きとする。

2) マージン（余白）

標準（上：35.01mm、下：30mm、左：30mm、右：30mm）とする。

【参考】Microsoft 社 Word による設定の仕方（Word 2007 以降の ver. 用）

[レイアウト] → [余白] → [標準] を選択する。

3) 文字数（一行あたり）、行数

40 文字×20 行とする。

【参考】Microsoft 社 Word による設定の仕方（Word 2007 以降の ver. 用）

[レイアウト] → [余白] → [ユーザー設定の余白] → [文字数と行数] を選択する。

① 「文字数と行数の指定」にて、「文字数と行数を指定する」を選択する。

② 「文字数」：40、「行数」：20 に設定する。

4) 段組み

1 段とする。

【参考】Microsoft 社 Word による設定の仕方（Word 2007 以降の ver. 用）

[レイアウト] → [段組み] → [1 段] を選択する。

5) ページ番号の設定

各ページの下部中央にページ番号を入れること。

【参考】Microsoft 社 Word による設定の仕方（Word 2007 以降の ver. 用）

[挿入] → [ページ番号] → [ページの下部] → [2] を選択する。

6) 行番号の設定

本文の左に行番号を振ること。なお、行番号は 1 行ずつ表示させ、ページごとに振り直すこと。

【参考】Microsoft 社 Word による設定の仕方（Word 2007 以降の ver. 用）

[レイアウト] → [行番号] → [ページごとに振り直し] を選択する。

7) フォント

和文（日本語）：MS 明朝、英文（英語、英数字）：Century とする。

8) フォントサイズ

10.5pt とする。

9) 全角・半角

① 和文（日本語）：全角、英文（英語、英数字）：半角 とする。

② 括弧（上付きも含む）、等号、不等号：全角とする。

【例】（ ）、「 」、＝、＜ ＞、： 等

③ スラッシュ：半角とする。

【例】 /

10) 句読点

「,（コンマ）」「.（ピリオド）」を使用すること。

11) 上付き文字

引用文献の数に応じて、以下のとおり記載すること。

① 引用文献が、番号の連続した 2 題の場合：○○^{1) 2)}

② 引用文献が、番号の連続した 3 題以上の場合：○○¹⁻³⁾

③ 引用文献が、番号の離れた 2 題以上の場合：○○^{1) 3) 5)}

4. 原稿の規程分量

原稿は、要旨・文献・図表を含んで、原則として刷り上がり 6 頁（400 字詰め原稿用紙 32 枚・12,800 字相当）以内とする。図表は、刷り上がり 1/4 頁大のもの 1 個を 400 字詰め原稿用紙 1 枚として換算すること。

5. 標題（表題）

副題を設ける際は「—（エムダッシュ：長線）」で括ることとし、原則として「-（エヌダッシュ：短線）」や「～（ティルト）」は用いない。

6. 要旨

原稿には和文の要旨（400 字程度）をつけること。なお、著しい分量の超過は認めないものとする。

7. 図表

図・写真・表：図・表は本文に出てくる順に、それぞれ一連番号をつけること。グラフィック表現および写真は図に含める。図の番号および表題は図の下に、表の場合は表の上につけること。図・表の転載には投稿前に著者の責任で転載許可をとり、投稿時に許可書を提出すること。図表の説明（キャプション）は図表の後に記載すること。スライド図・表は投稿用に作成し直すこと。

8. 文献

引用文献は本文の引用順に並べる。雑誌の場合は著者氏名、論文題目、雑誌名、西暦年号、巻、頁（最初—最終）の順に書き、単行本の場合は著者氏名、書名、編集者名、発行所名、発行地、西暦年号、頁を記載する。文献名の省略は 米国国立医学図書館（註2）の方法に従うこと。引用文献の著者氏名が3名以上の場合は最初の2名を記載すること。

- 【例】
- 1) 宮本謙三, 竹林秀晃, 他: 加齢による敏捷性機能の変化過程—Ten Step Test を用いて—. 理学療法学. 2008; 35: 35–41.
 - 2) Tompkins J, Bosch PR, et al.: Changes in functional walking distance and health-related quality of life after gastric bypass surgery. *Phys Ther.* 2008; 88: 928–935.
 - 3) 信原克哉: 肩—その機能と臨床— (第3版). 医学書院, 東京, 2001, pp. 156–168.
 - 4) Kocher MS: Evaluation of the medical literature. Chap 4. In: Morrissy RT and Weinstein SL (eds): *Lovell and Winter's Pediatric Orthopaedics*. 6th ed, Lippincott Williams & Wilkins, Philadelphia, 2006, pp. 97–112.
 - 5) 名郷直樹: EBMの現状と課題, エビデンスに基づく理学療法活用と臨床思考過程の実際. 内山 靖 (編), 医歯薬出版, 東京, 2008, pp. 18–38.
 - 6) 厚生労働省ホームページ 障害者白書平成23年度版.
<http://www8.cao.go.jp/shougai/whitepaper/h23hakusho/zenbun/index.html>
(2011年12月19日引用)
 - 7) Abood S: Quality improvement initiative in nursing homes: the ANA acts in an advisory role. *Am J Nurs.* 2002 Jun [cited 2002 Aug 12]; 102(6): [about 1 p.]. Available from:
<http://www.nursingworld.org/AJN/2002/june/Wawatch.htmArticle>
 - 8) Zhang M, Holman CD, et al.: Comorbidity and repeat admission to hospital for adverse drug reactions in older adults: retrospective cohort study. *BMJ.* 2009 Jan 7; 338:a2752. doi: 10.1136/bmj.a2752. PubMed PMID: 19129307; PubMed Central PMCID: PMC2615549.
 - 9) Cancer-Pain.org [Internet]. New York: Association of Cancer Online Resources, Inc.; c2000-01 [updated 2002 May 16; cited 2002 Jul 9]. Available from:
<http://www.cancer-pain.org/>.
 - 10) American Medical Association [Internet]. Chicago: The Association; c1995-2002 [updated 2001 Aug 23; cited 2002 Aug 12]. AMA Office of Group Practice Liaison; [about 2 screens]. Available from:
<http://www.amaassn.org/ama/pub/category/1736.html>

9. 数量の単位

単位は原則として国際単位系（SI 単位）を用いる。

【例】長さ：m、質量：kg、時間：s、温度：℃、周波数：Hz 等

10. 略語

略語は初出時にフルスペルあるいは和訳も記載する。

11. 機器名の記載法

機器名は、「一般名（会社名、製品名）」で表記する。なお、統計ソフトは「製品名、バージョン番号、会社名」とする。

12. その他

- 1) 必要がない限り表に縦線は使用しないこと。
- 2) 表・図（写真を含む）の挿入位置は本文の右欄外に指示する。
- 3) 本文には行番号およびページ番号を必ず記載する。

13. 附則

本規則の改廃は学術編集部会の決議による。その後速やかに一般社団法人 富山県理学療法士会 理事会に報告するものとする。

註 1：日本医学会 日本医学雑誌編集者会議：日本医学会 医学雑誌編集ガイドライン
(http://jams.med.or.jp/guideline/jamje_201503.pdf)

註 2：文献の引用例 7) ～8) は英文電子ジャーナル、9)、10) は英文ホームページの引用例である。詳しくは以下の 米国国立医学図書館ホームページを参照すること。
(http://www.nlm.nih.gov/bsd/uniform_requirements.html)

2019 年 6 月 10 日 一部改訂

2019 年 6 月 30 日 より施行